

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

江別市企業版ふるさと納税推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道江別市

3 地域再生計画の区域

北海道江別市の全域

4 地域再生計画の目標

江別市の人口は、平成 17 年の 125,601 人をピークに人口が減少し始めたが、大規模宅地造成による転入者の増加に後押しされ、令和 2 年には再び増加に転じた。

しかしながら、将来人口推計結果によれば、令和 27 年には 10 万人を切る 93,218 人となり、令和 52 年には 60,503 人と現在の半分以下の人口となることを見込まれるなど、今後も少子高齢化を背景とした人口減少が継続すると考えられる。

年齢 3 区別の人口動態をみると、年少人口（0～14 歳）は平成 7 年の 19,474 人をピークに減少し、令和 2 年には 13,400 人となった一方、老年人口（65 歳以上）は平成 7 年の 14,325 人から令和 2 年には 36,783 人と増加の一途をたどっており、今後も少子高齢化がさらに進むことが想定される。また、生産年齢人口（15～64 歳）も平成 12 年の 85,788 人をピークに減少傾向にあり、令和 2 年には 69,555 人となっている。

自然動態をみると、出生数も減少傾向にあり、令和 5 年には 582 人となっている。その一方で、死亡数は令和 3 年に初めて 1,400 人を超え、令和 5 年には 1,496 人と増加傾向となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲914 人（自然減）となっている。

社会動態をみると、大規模宅地造成等の後押しにより平成 28 年以降、転入者が転出者を上回る社会増の状態が続いている。しかし、宅地造成が落ち着いてきたことや地価の高騰を背景に、令和元年度の社会増数（1,205 人）をピークに減少傾向

にあり、令和5年の社会増数は、425人となっている。

こうした傾向が続き、人口が減少し続けるとなれば、地域経済活動が縮小するほか、税収減による公共サービス・社会基盤整備等の縮小など、市民生活に大きな影響を及ぼす可能性がある

そのためには、札幌市に隣接する地理的優位性を生かし、地域経済の活性化を図るほか、これまで以上に子育て支援策を充実させ、市民の出産・子育ての希望に応じていく取組の推進、さらには、子育て世代の転入者が多いという状況を今後も維持し続けていくための環境づくりを行っていく必要がある。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標1 持続可能で元気な経済をつくる
- ・基本目標2 えべつへの新しい人の流れをつくる
- ・基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標4 みんなで支え合い、安心して暮らせる共生のまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	市内に働きやすい環境が整っていると思う市民割合	30.1%	35.0%	基本目標1
イ	人口の社会増減数	425人	2,500人以上 (累計)	基本目標2
ウ	子育て環境が充実していると思う市民割合	55.0%	60.0%	基本目標3
	年少人口の数	13,556人	13,000人以上	
エ	共生のまちづくりが進んでいると思う市民割合	47.0%	51.7%	基本目標4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

江別市総合戦略推進事業

- ア 持続可能で元気な経済をつくる事業
- イ えべつへの新しい人の流れをつくる事業
- ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業
- エ みんなで支え合い、安心して暮らせる共生のまちをつくる事業

② 事業の内容

ア 持続可能で元気な経済をつくる事業

市内経済の活性化を図るほか、地域資源を生かした周遊観光を促進する
事業

【具体的な事業】

- ・道央圏への産業集積の動きを捉えた企業誘致
- ・中小企業等の事業活動の支援
- ・生産性の向上等を目的としたスマート農業の推進
- ・様々な地域資源の面的な連携による周遊観光の促進 等

イ えべつへの新しい人の流れをつくる事業

子育て世代の転入者の増加を図るほか、市の強みである市内四つの大学
と連携した取組を行う事業

【具体的な事業】

- ・江別市の価値を高めるシティプロモーションの推進
- ・子育て世代を中心とした市外からの移住や市内における定住促進
- ・市内大学や関係機関、他自治体と連携した市内4大学の在学生・卒業

生の地域定着や関係人口の増加に向けた取組の推進

- ・若者を惹きつける魅力ある大学づくりの支援 等

ウ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

安心して子育てができる環境を整えるほか、デジタル技術等を活用し、教育環境を充実させる事業

【具体的な事業】

- ・子育てや子どもの成長を地域全体で支える切れ目のない支援体制の構築
- ・保護者が働きながら安心して子育てできる環境整備の推進
- ・結婚への希望をかなえる取組の実施
- ・外国語教育や教育D Xの推進による学習環境の向上 等

エ みんなで支え合い、安心して暮らせる共生のまちをつくる事業

近隣自治体等との連携を図り効率的・効果的な行政サービスを推進するほか、誰もが自分らしく活躍できる共生のまちづくりを推進する事業

【具体的な事業】

- ・北海道や近隣自治体との連携による効率的・効果的な行政サービスの推進
- ・健康寿命の延伸のための健康づくり活動の推進
- ・アクティブシニアの活躍と積極的な地域参加の促進
- ・性別、年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、多様な主体が活躍する共生のまちづくりの推進
- ・多文化共生を踏まえた国際理解の推進と在住外国人への情報提供の充実
- ・持続可能な公共交通ネットワークの構築の推進 等

※ なお、詳細は第3期江別市総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（K P I））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

375,000 千円（令和 7 年度～令和 11 年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度 8 月頃に外部会議による効果検証を行い、その結果を市ホームページに掲載する。

⑥ 事業実施期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで

6 計画期間

令和 7 年 4 月 1 日から令和 12 年 3 月 31 日まで